

# ペンと 柏葉

国際流通科通信

文責 梅田宏則

たゆみなく叡知を探り  
厳しい環境にも屈せず

令和6年9月

## 10月の行事等

1日(火)	インターシップ 事前指導④	2年
2日(水)	インターシップ ~3日	2年
4日(金)	前期終業式	全
5日(土)	べっぴん検定模試	3年
12日(土)	全統記述模試	3年
18日(金)	全統共通テスト模試 ~19日	3年
20日(日)	見学旅行 ~25日 (1団2団により別期日)	2年
22日(火)	Ⅱ期講習	1・3年

## 国外での進学！

昨年度、国際流通科からアメリカの高校に長期留学した生徒がいました。期間は8月から6月までの10か月間の渡米で、とても有意義な経験を積み、先日の大きな笑顔での帰省が印象的でした。帰省という言葉に疑問を持つ人もいるかもしれませんが、何とこの生徒は今秋からアメリカの大学に進学するのです。彼は大学卒業後の目標や夢を確かに抱き、その実現のために歩んでいます。彼の夢の具現化を心より応援しているところです。また、他にも、短期留学による渡米をした生徒がいました。進路には直結しないものの、事後の職業等にて必ず役立つことがあると考えます。行動によって、様々な可能性が広がることを、皆さんも是非認識してくれることを願っています。



アメリカからのオンライン講話

昨年、左記の生徒による、授業内での講話が実施されました。学校・生活・文化など多くの話しをしてくれ、聴いていた級友も皆感心していた様子でした。

## 令和5年度卒業生の進路状況について

前期も残りわずかとなり、来月から後期に入ります。授業時数も多くなるとともに次回の考査範囲も広がります。三年生は進学者が主となり全力で臨む時期となりました。自身の持つそれぞれの目標達成に向け取り組んでいってください。

さて、これまで、卒業生の進路状況についてお伝えしていますが、今回もその続きとなります。今回の通信では、次に記載のとおり、大学・短大の進路に絞り、状況をお伝えしますので、自身の進路として選択肢に入っている生徒は、是非参考にしてください。

※左図は、今春卒業した国際流通科の先輩方の進路状況(前回掲載に同じ)

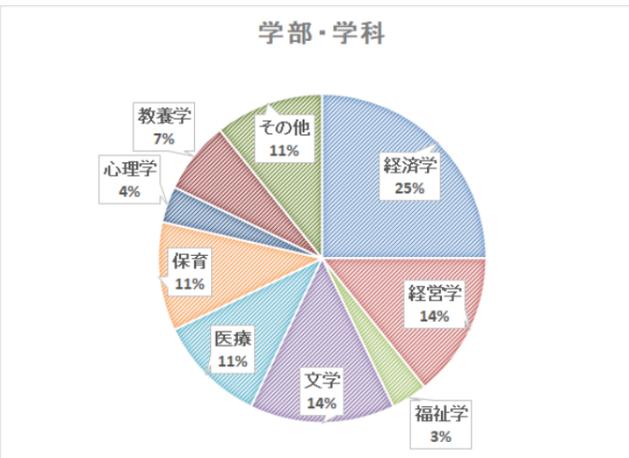
図のとおり、今春の卒業生全体の約40%(5人に2人)が大学・短大に進学しました。その多くが、本校入学後から学年が上がるにつれ、その時々に進路について思索し、悩み、それぞれ進学という道を選択し進むこととなりました。ただ、その苦慮する過程を過ごすなかでも、継続してきたことが、「学び」への取り組み。自分でしか為し得ないこの取り組みをほとんどの生徒が実行し、自身の可能性を高めた上での進路選択をしてきたものと考えています。現在進行中にある更なる学びにより、より高度な知識・技術、そして専門的な能力を育み、上級学校卒業後における職業人としての活躍を心から願うところです。

[\(次頁へ\)](#)

開校 75周年(76年目)  
商業科設置 68周年  
(国際流通科学科転換 25周年)



## 四年制大学・短期大学



いているものであり、大きな責任を負うものであること。「公募」・「自己」推薦には学力・小論文検査を伴う学校もあるなど、計画的な準備を必要とします。そして、もう一点伝えたいのは、普通科目の学力を上げる努力を続けることです。これは、一般選抜受験も見据えた取り組みという意図もありますが、進学後の学力の保障という観点にあります(普通科目の学びを深めた学生と同じ土俵で講義を受けることになります)。日々の授業はもちろんのこと、進学講習への積極的参加なども踏まえ取り組んでいってください。

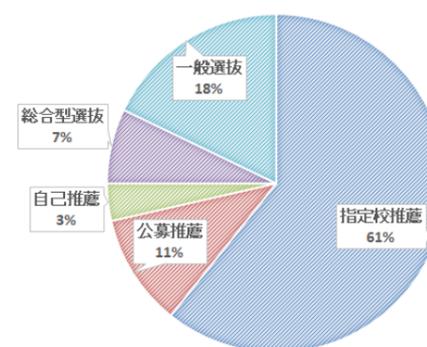
【**総合型**】 総合型選抜による受験については、門戸が広がる傾向にあり選択肢として検討の余地はありますが、資格などの出願条件や学力試験、小論文なども当然にして課せられることを念頭に、準備を進めていってください。ちなみに、限られた指定校推薦枠を逃しても、この受験方法で目標を掴み取った先輩もいます。

【**一般**】 最後に、一般選抜受験についてですが、図のとおり2割弱の生徒が臨みました。結果は、それぞれが目標とする進路をほぼ掴み取り卒業して行きました。特に一般選抜では難しいとされる釧路公立大学の合格や二部ではありますが、道内私大の難易度の高い学校にも複数合格しています。何れの生徒もその取り組みは目覚ましく、入学時より学業を疎かにすることなく打ち込み、常に成績上位者として名を連ねた生徒で占めます。そして、何より大切な取り組みが、普通科のある本校の強みとなる「進学講習」への参加。普通科目の先生方の協力のもと、授業内での不足箇所やカリキュラム上の課題となる受験対策への対応となります。もちろん、講習の参加に終わらせることなく、自身の学習課題の整理・改善・定着への取り組みが不可欠となります。大変かもしれませんが

さて、左図は上級学校において選択した学問分野となります。その名称からは、職業に直結するものから幅のあるものまで想像できることでしょう。何れにしても大切なのは、卒業後の進路となる「職業意識と学びとの関連性」と言えます。上級学校にて自身で学んだことをどの様に活かし、職業人としての道を歩むのかを考え、選択していくことが望ましい進路実現となります。

【**推薦**】 次に受験方法について、下図のとおり75%という多数が推薦での受験を選択し進路実現を果たしました。国際流通科はビジネス教育に力を入れているため、カリキュラム上、一般選抜受験への対応にはどうしても欠けてしまう所があり、この選択は必然的な状況とも言えます。それがゆえ、生徒は三年間の歩みの中で学習全般に渡る成績の向上に努めたり、多くの上位級の資格取得に励んでいました。また、部活動や行事等における自身の成長(幅・奥行)に努め、面接での適切な評価に値する準備も必要となります。なお、留意点として、「指定校」は大学との信頼関係による推薦枠を頂

## 大学・短期大学の受験方法



が、各種検定に向け、計画的に懸命に取り組むことができる流通科生徒だからこそ可能とも言えるでしょう。ちなみに上述の生徒の他、推薦不合格時を踏まえ、これらの取り組みを継続し、一般受験にも十分対応できる学力を身に付けた生徒も複数います。

【**全商推薦**】 道外の私大志望者は是非検討してください。資格の上位級取得と優れた成績を条件に進路実現は可能です(大学により条件も様々なため、担任の先生に早めの相談を！)。

※本当の進路実現とは、行ける学校に進むことではなく、「行きたい学校に進むこと」。そのための「準備(意識・情報・能力)」を身に付ける行動に努めていってください。

## 【R5年度卒業生大学・短期大学進路先一覧】

岩手大学	1名	北海道情報大学	1名	東京経済大学	1名
北海学園大学	3名	札幌大学	2名	札幌大谷大学短期大学部	2名
藤女子大学	1名	札幌国際大学	1名	北海道武蔵女子短期大学	3名
北星学園大学	6名	日本医療大学	2名	札幌国際大学短期大学部	1名
札幌学院大学	4名	北海道千歳リハビリテーション大学	1名		